

平成17年度事業報告

財団法人豊田市国際交流協会（TOYOTA INTERNATIONAL ASSOCIATION：TIA）は、1988年10月設立以来「国際化の主役は市民である」の理念のもと、国際交流・国際理解教育・多文化共生のそれぞれの活動を通し、地域の国際化を推進してきました。

平成17年度は「愛・地球博」関連事業を始め、各種団体のホームステイの受入れ等、交流事業を中心に事業を行いました。特に上半期は各国ナショナルデーでの受入れを中心とした「一市町村一国フレンドシップ事業」、万博終了後は「未来へつなげよう愛・地球博10か国フレンドシップ・フェスティバル」を開催し、万博を盛り上げるとともに、万博の理念でもある市民参加の国際交流とすべく意を注いできました。

また、市内で急増する中国人住民に対する相談窓口の試行的開設、発生が懸念される東南海地震に備えた外国人市民防災体制の構築に向けた調査などにも取り組みました。

1 交流事業

（1）国際親善受入事業

豊田市を訪問する外国人学生などの国際親善使節を受け入れ、市民との交流の機会を持ち、相互理解と友好親善を深めました。

ア アメリカ・ウエイン州立大学（デトロイト）

受入時期 平成17年7月1日（金）～7日（木）

受入人数 3名

内 容 助役表敬訪問、トヨタ自動車工場・万博見学などを実施。

イ シカゴ少年合唱団

受入時期 平成17年7月27日（水）～31日（日）

受入人数 112名

内 容 演奏会、交流会、ワークショップ、また、ホストファミリーを通じておいでんまつりや花火見学など市民との交流を実施。また、「日米フレンドシップコンサート シカゴ・豊田少年少女合唱団 万博記念豊田公演」をカバハウスホールにて開催（7月31日）。

ウ 桜花学園大学留学生（韓国）

受入時期 平成17年11月5日（土）～6日（日）

受入人数 15名

内 容 各ホストファミリー宅にて交流

（2）おいでんまつり参加

「豊田おいでんまつり」に踊り連「トヨタリアン」を結成して参加しました。万博本番の今年度は、一市町村一国フレンドシップ対象国を意識した踊り連を編成し、おいでんまつりの国際化に努めました。

開催日 平成17年7月30日（土）

会場 豊田市中心市街地一帯

参加者 外国人・日本人120名

(3) 愛・地球博関連事業

一市町村一国フレンドシップ事業

万博を契機にフレンドシップ国への理解を深めると同時に、豊田市の伝統、文化、芸術を紹介し、国際理解と国際親善に努めました。また、フレンドシップ国との国際交流活動が万博終了後も継続することを目指した事業を実施しました。

ア ナショナルデー事業

<英 国>

開 催 日 平成17年4月22日(金)

会 場 万博会場内 EXPOドーム

内 容 豊田市民の応援バスツアー、公式式典・イベントに参加。文化イベントへ友情出演(浄水小、若園中、竜神中の演奏・合唱)。

参 加 者 約2,200名

<韓 国>

開 催 日 平成17年5月11日(水)

会 場 万博会場内 EXPOドーム、EXPOホール

内 容 公式式典・イベントに参加。公式式典でのファンファーレ・両国歌の演奏(高橋中)・合唱(元城小)。

参 加 者 約340名

<アメリカ>

開 催 日 平成17年6月20日(月)

会 場 万博会場内 EXPOドーム他

内 容 公式式典・イベント・パレードに参加。文化イベントへ友情出演(石野中、梅坪中、根川小の演奏・合唱・応援)。

参 加 者 約280名

<メキシコ>

開 催 日 平成17年9月15日(木)

会 場 万博会場内 EXPOドーム

内 容 公式式典・イベントに参加。公式式典でのファンファーレ・両国歌の演奏(松平中)・合唱(朝日丘中)。

参 加 者 約160名

イ ナショナルデー関連事業

「VOENA少年少女合唱団 万博記念 豊田公演」

開 催 日 平成17年6月19日(日)

会 場 豊田市コンサートホール

内 容 米国VOENA少年少女合唱団、豊田市少年少女合唱団のジョイントコンサートを開催。

参 加 者 約840名(出演者含む)

「メキシコ音楽の夕べ」

開催日 平成17年9月16日(金)
会場 名鉄トヨタホテル
内容 メキシコ民族音楽グループ「モノ・ブランコ」による演奏とメキシコ大使館文化担当官によるメキシコ音楽についての講演を開催。
参加者 約170名(出演者含む)

「フレンドシップ国のナショナルデー前後における国旗掲揚」

英国国旗掲揚	期間	4月15日(金)～4月29日(金)
韓国国旗掲揚	期間	4月29日(金)～5月13日(金)
米国国旗掲揚	期間	6月13日(月)～6月27日(月)
メキシコ国旗掲揚	期間	9月8日(木)～9月22日(木)
	場所	ペDESTリアンデッキ・市内商店街
	枚数	670枚

ウ 万博パビリオンスタッフ対象バスツアー

豊田市に長期滞在される万博のパビリオンスタッフに豊田市の伝統、文化を紹介するため、E-IFFによる英語でのガイドツアーを開催しました。

<第1回>

開催日 平成17年5月9日(月)
行き先 足助、香嵐溪、「三州足助屋敷」
参加者 10名

<第2回>

開催日 平成17年6月23日(木)
行き先 豊田市民芸館、酒蔵「浦野酒造」
参加者 15名

<第3回>

開催日 平成17年7月14日(木)
行き先 豊田市美術館
参加者 8名

<第4回>

開催日 平成17年8月25日(木)
行き先 トヨタ会館、トヨタ自動車工場見学
参加者 8名

<第5回>

開催日 平成17年9月12日(月)
行き先 トヨタ会館、トヨタ自動車工場見学
参加者 25名

エ International Educators to Japan (IEJ) プログラム

受入期間 平成17年7月7日(木)～10日(日)
場所 高橋中学校、前山小学校、大林小学校

内 容 海外の日系企業駐在員の子弟を受け入れしている現地公立学校の教師を日本に招待する IEJ プログラムにより、米国・英国の公立学校の先生（17名）と配偶者（2名）が豊田市を訪問し、小中学校の授業参観やホームステイにより豊田市民と交流を実施。

オ 英国フレンドシップ大使交流事業「日英合同作陶研究会」

内 容 フレンドシップ大使による芸術文化活動を開催し、フレンドシップ国から集う方々、市民との芸術文化を通じた交流を実施。

①公開ワークショップ

猿投の土で両国の伝統的な作品を成形し日本式穴窯で焼成

開催期間 平成17年4月1日（金）～4月30日（水）

会 場 猿投窯猿投陶房

②シンポジウム

日英陶芸家による伝統的な陶芸の紹介と豊田市の工芸作家による技法紹介などを通しての研究会

開催期間 平成17年4月10日（日）

会 場 豊田市青少年センター

③日英合同作陶展

開催期間 平成17年5月20日（金）～5月23日（月）

会 場 豊田市民ギャラリー

参加者 320名

カ 「フレンドシップ交流会」

開催日 平成17年8月20日（土）

会 場 ①長久手愛知県館 あいち・おまつり広場

②アメリカ館VIPスイート・フランクリンルーム

内 容 ①万博「豊田市の日」にフレンドシップ4か国の関係者とパビリオンスタッフを招待し豊田市を紹介。

②4か国と交流の深い団体、企業、教育機関等の関係者と交流会を開催。

参加者 53名

キ 「産業フェスタでのフレンドシップステージ」

「米国ハリケーン カトリーナ 義援金募集」＊

開催日 平成17年9月11日（日）

会 場 GAZA南広場

内 容 ①産業フェスタにおいて韓国伝統芸能（サムルノリ）の披露とメキシコ音楽（マリンバ）の演奏。

②同上会場において、米国ハリケーン「カトリーナ」義援金募金活動を実施。

参加者 約120名（出演者含む）

*義援金募集については、豊田市役所と豊田市国際交流協会に募金箱を設置し募金を実施しました（9月3日～9月16日）。義援金は駐名古屋米国領事館を通して米国政府へ送金しました。

ク 「未来へつなげよう愛・地球博10か国フレンドシップ・フェスティバル」
（*詳細は「主要事業の報告」を参照）

内 容 ①10か国円卓会議&フレンドシップコンサート

マリ・クリスティーン氏による記念講演、10か国代表による円卓会議、フレンドシップコンサート（出演：The Brass Party, Music of the Heart, ブリティッシュスクール）、関係者とのレセプションを実施。

開催日 平成18年3月24日（金）

会場 名鉄トヨタホテル

参加者 約500名（出演者含む）

②10か国記念交流会

英国、米国、韓国からの寄贈樹木一般公開セレモニー、VIP昼食会、スタンプラリー、10か国に関連する音楽演奏・舞踊・パネル展示・ワークショップ・飲食の出店。

開催日 平成18年3月25日（土）

会場 鞍ヶ池公園

参加者 約35,550名（出演者含む）

ケ フレンドシップ事業推進委員会の開催

内 容 「豊田市フレンドシップ事業推進委員会」を3回開催

場 所 豊田市役所又は豊田市国際交流協会会議室

コ 愛・地球博記念10か国フレンドシップ・フェスティバル発起人会、実行委員会の開催

内 容 「発起人会」を1回、「実行委員会」を3回開催

場 所 豊田市役所又は豊田市国際交流協会会議室

（4）アップウイズピープル日本ツアー受入れ（*詳細は「主要事業の報告」を参照）

開催日 平成17年9月19日（月）～26日（月）

会場 豊田市国際交流協会・豊田スタジアム他

参加者 27か国・54名

内 容 米国コロラド州デンバーに本部を置く非営利の体験型国際教育団体であるアップウイズピープルを受け入れ、愛・地球博の見学を始めとして広く市民に国際交流の場を提供するとともに、多様な文化へ

の理解と諸外国の学生たちとの友好を深めました。

(5) アメリカ・デトロイト市キャス・テク高校受入れ

受入時期 平成17年6月20日(月)～28日(火)

受入人数 11名

内 容 助役表敬訪問、大谷高校にて授業体験、小原和紙体験など行い、姉妹都市交流の推進に努めました。

2 相談・斡旋事業

(1) ボランティア登録・育成・紹介事業

通訳やホームステイなど国際化の担い手となる人材をボランティアとして登録し、ニーズに応じた活動を展開しました。特に16年度の募集及び研修会を契機に登録した万博を支援するボランティアの活躍が多く見られました。本年度は137名がボランティア登録をしました。

ア ボランティアの登録・育成・紹介の実施

- ・個人ボランティア 事業企画・推進ボランティア
情報ボランティア(図書整理など)
通訳・翻訳
日本文化紹介
ホームステイ・ホームビジット

・グループボランティア

- 交流・支援活動
 - アジア友の会
 - 外国人医療支援グループ
 - 日本文化紹介
 - ほづみ会
 - オープンハート
 - 留学生を支援する会
- 教育・学習活動
 - Alpha日本語教室
 - 海外生活体験者グループ
 - 日本語サロン
- 情報収集・提供
 - E-IFF
 - ひらがなういずゆー

イ ボランティア代表者会議の開催

開催日 年4回(4月・7月・10月・18年1月開催)

会 場 豊田市国際交流協会

内 容 TIAボランティア活動の更なる活性化とボランティアグループに共通する課題の解決に向けて情報共有と意見交換を行いました。また、本会議を通じて、愛・地球博関連イベントへの協力や参加を働

きかけました。18年度以降は、よりボランティアな気持ちを引き出すことのできる場を、本会議を通じて代表者と協働で取り組むことが必要とされます。

参加者 ボランティア11グループの代表者各1名（又は中堅層数名）とTIA理事長・職員2名

ウ ホームステイ・ホームビジット紹介・斡旋

要請があった時にTIAボランティアグループ・オープンハートの協力を得て随時対応しました。

エ ボランティアニュースレターの発行

外国人のためのひらがな情報紙「ひらがなういずゆー」を発行し、生活情報を提供しました。

発行回数 年3回

発行部数 1,100部/1回

オ アイシン精機株式会社「さわやかふれあい講座」

ボランティア活動の理解推進、企業人ボランティアの開拓・活動層拡大を図る講座をアイシン精機(株)さわやかふれあいセンターの共催のもと開催しました。

会場 豊田市産業文化センター

内容 ボランティアグループによる活動の欄に記載

主催 第一回：ほづみ会「タイ食文化交流から支援交流へ」

第二回：留学生を支援する会「留学生のふるさと講座」

第三回：海外生活体験者グループ「スペイン文化の味わいとマドリッド日本人学校の日々」

参加者 全3回で69名

(2) 国際交流情報の提供、相談事業

国際交流・協力経験者や、ボランティアとしての海外での生活体験者によって、国際交流・協力活動や海外留学、海外生活情報、帰国児童生徒問題等についての情報提供、相談業務を実施しました。

(3) 外国人多言語相談事業（*詳細は「主要事業の報告」を参照）

市を始め各種団体との連携のもと、在住外国人が抱える様々な分野の相談に乗り、多文化共生のまちづくりへの一助となるべく努めました。また、愛・地球博の開催や標準中国語相談員の配置に伴い、相談件数が倍増（16年度比）しました。今後も増加の見込まれる中国語相談については、平日の設置を、ポルトガル語相談については、祝日の導入を検討していく予定です。

総相談件数 175件（内、土・日相談件数51件）

(4) 通訳派遣事業

外国人が市民生活を送る上で、人道・人権に関わる問題、福祉・保健・医療に関わる諸手続きなどで通訳補助が必要な場合で、通訳者が確保できた場合に限り派遣しました。ドメスティックバイオレンス（DV）や生命が危ぶまれるような大病を患った外国人の治療にあたる関係機関からの相談等、複雑かつ深刻化する案件への対応が生じました。

派遣件数	9件
言語分野	英語7件　スペイン語1件　韓国語1件 教育1件　医療1件　公的機関1件　団体6件

(5) 市内及び近隣地域の学校国際理解教育プログラム相談・支援事業

国際化や多文化の進む社会に則した小中学校での国際理解教育プログラムの相談について、依頼に応じて関連資料の紹介や講師派遣の支援を行いました。今年度は豊田市青少年センターからの相談にも対応しました。

相談件数	5件
講師派遣	2件（計3人）、事務局職員対応　1件

(6) ブラジル一日領事館への協力

豊田市市民相談課主催である当該事業が円滑に実施できるよう、T I Aとして在住ブラジル人を対象とした啓発事業を行いました。

開催日	平成17年9月18日（日）
場所	豊田産業文化センター
内容	子育て情報誌（ポルトガル語版）の配布など

(7) 外国人医療支援事業の展開

外国人検診会の開催

T I Aボランティアグループ外国人医療支援グループの活動を中心に平成16年度に引き続き、市内ブラジル人学校に通う児童生徒への健康診断会を開催し、在住外国人の子どもの健康福祉の課題に取り組みました。今年度は豊田加茂医師会の協力のもと市内医療機関より医師派遣と看護師のボランティア募集の支援を得られました。（詳細はボランティアグループ活動計画の外国人医療支援グループのページをご参照下さい）

3 研修・啓発事業

(1) 日本語講座

市内及び近隣市町村在住の外国人が日本人と円滑なコミュニケーションが図れ、充実した日常生活を送るための一助として、専門講師による日本語講座を実施しました。

期間	前期：平成17年4月9日～9月10日
----	--------------------

	後期：平成17年10月9日～平成18年3月11日 毎週土曜日
時 間	午前9時30分～午前11時45分
ク ラ ス	入門・にほんご1・にほんご2・にほんご3
会 場	豊田市国際交流協会
参加者	前期58名 後期63名

(2) 国際理解教育セミナー（＊詳細は「主要事業の報告」を参照）

参加・体験型の手法を通して、人権・平和・多文化・環境といった地球規模の問題への理解を深め、その解決に向けて実践的な行動を起こすことができる地球市民を育成することを狙いとしました。また、一般市民の参加を促すべく、平明なテーマを選定し、参加・体験型学習の場の提供を、地域の公的機関との協働で推進しました。

<第1回>

開催日	平成17年8月6日（土）・8月7日（日）
内 容	連続セミナー「児童英語で国際理解教育～英語の授業、こうやってみよう」セルフエスティームや大韓民国をテーマとして、平易な英語表現を用いながら、感性の尊さと異文化理解を学び、模擬授業を体験しました。
参加者	延べ24名（教師・塾講師など）
会 場	豊田市国際交流協会

<第2回>

開催日	平成17年12月3日（土）
内 容	「世界がもし100人の村だったら2005」と題し、ベストセラーとなった本をもとにワークショップ形式で世界の富の不均等や環境・人権問題を捉え、世代や性別を超えて、参加者同士が意見を自由に交わす学びの場を提供しました。図書館との協働事業。
参加者	22名（小学生・高校生・ボランティア・会社員・NGO職員など）
会 場	豊田市中央図書館

<第3回>

開催日	平成18年2月25日（土）
内 容	テーマは「地域と文化のセミナーまるごと中国講座パート1」。前半で中国の文化や言葉を学ぶワークショップをした後、後半は旧正月の料理「菘菜合」作りを行いました。中国出身の外国人市民が講師を務め、自国の紹介などを含めたミニ講演も実施しました。
参加者	21名（会社員・団体職員・主婦など）
会 場	キラッ★とよた（豊田産業文化センター2階）

(3) 第16回地域の国際化「豊田セミナー」の開催

「多文化ソーシャルワーカーの受け皿と支援の方法—今あるギャップを埋めるには？」

地域レベルでの国際化水深を担う関係者を対象に、時代の要請に対応する多文化共生、国際交流、国際理解のあり方を学びあうセミナー。03年度からの継続テーマである「多文化ソーシャルワーカー」をテーマに取上げ、今後の多文化共生社会の担い手となる人材の受け皿と支援の方法について、参加者と共に議論を深めました。

開催	平成18年2月24日（金）
場所	豊田市国際交流協会
内容	外国人市民の抱える課題解決に重要なキー人材となる“多文化ソーシャルワーカー”の必要性を再度唱えるとともに、その受け皿となる雇用、そしてスキルアップや社会的認知度を高めるための支援の方法について議論しました。
参加者	国際交流協会・自治体職員、ボランティア、学生など 75名
共催	財団法人愛知県国際交流協会、豊田市
後援	豊田市教育委員会、豊田商工会議所

(4) 外国語講座

ア 韓国・朝鮮語講座

ドラマや歌など韓流ブームと重なって、隣国への関心は高まるばかりです。本講座では愛・地球博フレンドシップ対象国である韓国の言葉を入門レベルで学ぶ目的で市民対象に前後期の年2回開催しました。

開催日	平成17年5月20日～7月8日 毎週金曜日 平成17年10月5日～11月30日 毎週水曜日
会場	豊田市国際交流協会
内容	入門韓国・朝鮮語
参加者	前期13名 後期20名

イ 中国語講座

地理的にも近く、文化や経済的な結びつきが年々深まる中国への理解を深めると同時に、市内外国人登録の中で3番目に多い中国人の文化理解を図り友好親善のきっかけづくりの場とするため、市民対象の中国語入門講座を年2回開催しました。

開催日	前期：平成17年8月2日～10月25日 毎週火曜日 後期：平成18年1月10日～3月28日 毎週火曜日
会場	豊田市国際交流協会
内容	入門中国語講座
参加者	前期19名 後期17名

ウ スペイン語講座

一市町村一国フレンドシップ事業の対象国の1つメキシコの公用語でもあるスペイン語を学習する機会を昨年度に引き続いて提供しました。

開 催 平成18年1月7日～3月25日 毎週日曜日
会 場 豊田市国際交流協会
内 容 入門スペイン語講座
参加者 17名

(5) 外国人防災体制の整備

ア 先進地域調査

発生が懸念される東南海地震に備えた豊田市の外国人防災体制の整備を進めるため、先進地域の調査及び関連する研修に参加し、情報の収集に努めました。18年度は得られた情報を活かした事業の実施に努めます。

<調査1>

実施日 平成17年8月22日(月)～23日(火)
調査先 長岡市国際交流センター・(財)自治体国際化協会
調査内容 新潟県中越地震での外国人被災者支援状況、外国人防災の体制整備のあり方について

<調査2>

実施日 平成17年9月19日(月)
調査先 大阪府堺市
調査内容 「大阪府泉北地域4市1町合同防災訓練」視察

<研修1>

開 催 平成18年1月28日(土)
会 場 あいち国際プラザ
内 容 「地震について考えよう！」

<研修2>

開 催 平成18年1月29日(日)、2月11日(土)
会 場 豊田市消防本部
内 容 「豊田市災害ボランティアコーディネーター養成講座」

<研修3>

開 催 平成18年3月1日(水)～3日(金)
会 場 全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市)
内 容 「災害時対応：在住外国人を災害弱者にしないために」

イ 外国人集住地域における防災啓発事業(*詳細は「主要事業の報告」を参照)

外国人集住地域での防災の仕組みづくりは急務な課題です。今年度はNPOとの共催により地域住民を対象とした啓発講座を実施しました。

<第1回>

開 催 平成18年2月26日(日)

会 場	都市再生機構保見団地141棟第2集会所
内 容	「あれから11年…阪神大震災の体験談を聞く」
<第2回>	
開 催	平成18年3月26日(日)
会 場	都市再生機構保見団地141棟第2集会所
内 容	「防災!そのまえ・そのとき・そのあと」

4 情報収集・提供事業

(1) T I A機関誌「サンフラワー」発行事業

国際交流に関する情報とT I Aの事業案内等を機関誌として発行し、国際交流の推進とT I Aに対する協力支援を得るため、県・市町村国際交流担当部署、各種国際交流団体、T I A関係者及びボランティア等に配布しました。

発行回数	年4回(4月、7月、10月、1月)
規 格	A4サイズ 4頁
発行部数	3,000部/1回

(2) 国際理解教育ニュースレター発行事業(*協会トップページのPDFを参照)

国際理解教育の手法や教材の紹介、セミナー等で実施したプログラム等を中心に、この分野に関心のある人々に充実した情報を提供しました。

17年度はセミナー実施時期と合わせて発行し、市民への周知を図りました。

発行回数	年3回(6月、11月、2月)
規 格	A4サイズ 2頁(市内小中学校の教員への全員配布・関係諸機関への配布)
発行部数	2,000部/1回

(3) 広報とよた「外国人のための情報コーナー」

豊田市の広報誌に英語・ポルトガル語とルビ付きの日本語による各種生活情報を掲載しました。

発行回数	24回(毎号掲載)
規 格	A4サイズ 1頁
発行部数	149,370部/1回

(4) 図書、ビデオ収集・提供事業

市民が諸外国への理解や協力、地域の国際化への認識を深めるために、また、外国人が日本の歴史、文化、社会の理解を深めるために必要とする図書、資料、ビデオ等を収集・提供しました。

書 籍	920冊(平成18年3月31日現在)
ビ デ オ	84本(//)

(5) 各種出版事業

本協会主催の各種事業の内容を要約・編集し、報告書として提供しました。

ア 第16回地域の国際化豊田セミナー報告書「多文化ソーシャルワーカーの受け皿と支援の方法—今あるギャップを埋めるには？」

T I A主催の第16回豊田セミナーの内容を要約・編集し、報告書として各方面へ提供しました。

A4版 90頁 発行部数 400冊 平成18年3月発行

5 国際交流団体育成事業

各種国際交流関係機関、団体等が実施する地域の国際交流事業に対し、その後援を始めとして、積極的な支援参加を行いました。

件数 6件

6 調査・企画事業

(1) 多文化共生のまちづくり推進事業の取組み

地域在住外国人が国籍や言葉の違いに関係なく、人間としての基本的な生活を送る上で支障をきたさないよう、さらには外国人市民がもたらす豊かな個性を活かしながら、多様な価値観の共存する多文化共生のまちづくり実現に向け、関係部署と連携して推進しました。

ア 多文化共生への提言の展開

外国人集住都市会議、豊田市多文化共生推進協議会などを通じ、仕組みや法制度の見直しに取り組む活動に参画・協力しました。

イ 外国人子ども支援事業の展開

学校教育の中での支援については、市教育委員会に設置されている「豊田市教育国際化推進連絡協議会」の中の外国人児童生徒委員会・国際理解委員会の委員としてT I A職員2名が参加することを通じて行いました。

ウ 保見団地多文化共生モデル地区事業の推進

外国人市民の集住度の高さと規模で全国的にも注目されている保見団地において、自治区やボランティアグループ等の地元組織、大家である公団や愛知県、企業、市等と連携をとりながら、多文化共生のまちづくりを推進する。

17年度は、特に防災という視点からNPOと連携した研修会などへの参画・協力を努めました。

7 外国人青少年社会順応促進事業

(1) 青少年国際交流サッカー大会

外国人青少年に人気の高いサッカーの大会を開催し、スポーツを通じて交流する機会

を提供し、彼らの健全育成を図る一助としました。昨年度の反省から試合前の参加者チェックを導入したことで、より公正な試合とボランティアの主体的な参加を促すことができました。また準備不足から昨年は実現できなかった女子リーグや親子交流試合が実施でき、1年目の反省を生かした大会を運営することができました。

開 催 平成17年10月23日（日）
会 場 トヨタスポーツセンター
参 加 者 7～18歳の青少年276名、計22チーム
大会スタッフ・ボランティア50名

8 国際交流センター運営事業

地域の国際交流活動の拠点として、国際交流や海外諸国に関する情報の提供及び外国人への生活やイベント、観光地等に関する情報の提供、各種相談に努めました。また日本人と外国人との交流を深める場、ボランティア活動の場を提供しました。

9 その他 ボランティアグループ活動

本年度、各グループは以下の活動を実施しました。T I Aは個別の支援を実施しています。

●国際交流

オープンハート

ホームステイ・ホームビジットプログラムのコーディネート

日本文化紹介

- ・在住外国人への日本文化紹介（茶道・書道・華道・着付け・折り紙等）
開催時期 随時
- ・T I A事業への協力（アップウイズピープル日本ツアー受入れ等）

●国際協力

アジア友の会

書き損じハガキ回収キャンペーン

回収時期 随時

内 容 交流館を中心に市内全域での書き損じハガキの収集活動による収益金によって、インドの農村貧困者自立のための団体を支援しました。

年間を通じてスマトラ沖地震及び津波の被災地の一つであるインド・チェンライにあるNGO団体を通じた支援を継続中。

ほづみ会

- ・チャリティーコンサート

開 催 日 平成17年6月5日

会 場 豊田市コンサートホール

参 加 者 900名

- ・アイシンさわやかふれあい講座
 - 開催日 平成17年10月29日
 - 会場 キラッ★とよた
 - 内容 「タイ食文化交流から支援交流へ」
 - 参加者 35名
- ・「地球市民村 I Nあすて」
 - 開催日 平成18年3月25日
 - 会場 (財) あすて
 - 内容 「地球市民村 I Nあすて」へのブース出展参加
- ・その他：各種イベントへのバザー参加、タイ語講座（月1回）の開催、ニュースレターの作成・発送など

●在住外国人と交流・支援

留学生を支援する会

- ・留学生歓迎交流会
 - 開催日 平成17年5月15日（日）
 - 会場 キラッ★とよた
 - 内容 留学生を歓迎する交流会と日用品バザー
 - 参加者 41名
- ・日本文化体験
 - 開催日 平成17年10月29日（土）
 - 会場 喜楽亭
 - 内容 留学生を対象にした着付け・お花・お茶などの体験講座
 - 参加者 36名
- ・留学生ふるさと講座
 - 開催日 平成17年11月23日（水）
 - 会場 キラッ★とよた
 - 内容 パラグアイ出身留学生による料理と文化紹介講座
 - 参加者 21名

E-I F F

・英語サロン

下記6回を実施しました。①～④は愛・地球博推進とよた市民事業としてフレンドシップ国出身者を招いて各国の紹介をしました。

- ①開催日 平成17年4月16日（土）
 - 会場 豊田市国際交流協会
 - 内容 メキシコの歴史、文化、習慣、料理などについての紹介
 - 参加者 34名
- ②開催日 平成17年5月15日（日）
 - 会場 豊田市国際交流協会

- 内 容 アメリカ教育現場についての講話
 参 加 者 37名
- ③開 催 日 平成17年6月25日（土）
 会 場 豊田市国際交流協会
 内 容 英国出身講師による芸術についての講話
 参 加 者 23名
- ④開 催 日 平成17年7月17日（日）
 会 場 豊田市国際交流協会
 内 容 韓国、文化についての話とハンゲル講座
 参 加 者 21名
- ⑤開 催 日 平成17年12月10日（土）
 会 場 崇化館交流館
 内 容 タイ文化の講話とタイ料理の紹介
 参 加 者 29名
- ⑥開 催 日 平成18年2月11日（土）
 会 場 崇化館交流館
 内 容 アメリカのクッキーに関する話とクッキーの作り方の紹介
 参 加 者 30名

- ・ T I A事業（万博パビリオンスタッフ対象バスツアー）への協力
 ＊交流事業の中で報告

- ・ その他（通年）

出生証明書や婚姻手続等に関する証明書類の翻訳
 外部依頼のあった翻訳・通訳
 T I A事務局より通訳派遣

ひらがなういずゆー

「ひらがなういずゆー」発行

発行日	第47号	平成17年5月25日（火）
	第48号	平成17年10月20日（水）
	第49号	平成18年2月21日（火）

発行部数 11,000部

内 容 外国人市民向けひらがな情報紙

外国人医療支援グループ

外国人子どもを対象とした健康診断会

開 催 日 平成17年11月20日（日）
 会 場 保見団地集会所

内 容 豊田市内の日本語教室やブラジル人学校に通う児童生徒を対象に健康診断会の開催と実施後のフォローを行いました。

参加者 48名

日本語サロン

日本語クラス開講

開催日 前期 平成17年4月13日～9月14日
後期 平成17年10月12日～平成18年3月15日
毎週水曜日

場 所 豊田市国際交流協会

内 容 外国人への日本語指導

受講者 前期後期とも常時60～70名（託児常時10～15名）

バスハイク

開催日 平成17年7月13日（水）

行 先 鞍ヶ池公園

内 容 日本語学習者、ボランティアによる交流、郊外研修

Alpha日本語教室

日本語クラスの開催

開催時期 平成17年5月8日～7月31日、
平成17年9月11日～12月4日、
平成18年1月15日～4月16日 毎週日曜日

受講者 各タームとも常時約180名

備考 その他クラス外活動として、もちつき・日本昭和村へのバスハイク・閉講式後の交流会などを実施。

●学習・情報提供

海外生活体験者グループ

海外生活サロン（海外の日本人学校の情報を共有する会）年1回

開催日 平成18年1月28日（土）

場 所 豊田産業文化センター

内 容 「スペイン文化の味わいとマドリッド日本人学校の日々」についての講演

参加者 21名